

令和5年度地域おこし学校
こうちみませ楽舎「プレミアムクラス」
第8回レポート (11/18)

皆さんこんにちは。今回は、こうちみませ楽舎プレミアムクラス第8回「語ろう！参加者同士でやってみる会」のレポートになります。

第8回は講義ではなく、受講生が実現したいことを「やってみる」回です。実際に「やってみる」ことでアイデアが具体化し、イメージがしやすくなります。また、他の受講生から意見をもらうことでアイデアの練り直しや磨き上げにも繋がります。早速様子を見てみましょう！



まず1人目は「御畳瀬の干物をブランド化」を目標にする受講生です。御畳瀬のメヒカリ（干物）がとても大好きで、干物に対する熱い想いを聞いていると、つつい食べたくくなります。今回は、実際に干物を焼いてみて、食べ方や焼き方など説明をしながら、他の受講生に試食してもらいました。受講生からは「美味しい！」「素揚げで食べるのもいいね」など意見があり、御畳瀬の干物をブランド化するのに自信が持てたのではないのでしょうか。

2人目は「御畳瀬の里海里山を生かしたい」と考えている受講生です。こうちみませ楽舎に関わっている内に御畳瀬が好きになり、この御畳瀬をたくさんの人に知ってもらいたいと思い、PR方法を模索中です。そこで今回は、御畳瀬のイメージカラーが青色なので、ご自身で育てているバタフライピー（花が青いマメ科の植物）を利用してみることにしました。自宅で淹れてきてくれたバタフライピーのお茶をコップに注いでみると、青い！飲んでみると「ただの水」「味がない」など飲み物としては改善の余地ありでした。しかし、レモンを加えると青色から紫色に変化しました！飲むだけではなく見せる物としても、新たな可能性が見えてきましたね。





3人目と4人目の受講生はご夫婦で参加しており、「空き家になった実家の活用」を検討しています。これまでに「借家にする」「ゲストハウスにする」「何かの教室を開く」など様々な構想がありましたが、まだ決まっていない状態です。今回は、受講生のみなさんで空き家を見て何かアイデアが生まれませんか、また、趣味でやっている新聞バッグを教室のように説明しながら作ってみる、を実施しました。

新聞バッグ教室は、作業工程だけでなく、特性や用途なども説明しながら実演してくれました。とてもわかりやすく、気が付けばバッグが完成していました。「手が止まらずに説明し、本当の先生のようなだった」とすぐに教室が開けるぐらいのクオリティです。

その後、リフォーム工事中のご実家へ移動。畳や壁が剥がされていましたが、「部屋が広いから教室は問題なくできそう」「駐車場もあるから遠くからでも来ることができる」と関係人口や交流人口の増加に期待ができそうですね。

最後は「子どもを対象としたパソコン教室を開く」ことを実現したい受講生です。本人は動画編集が趣味で、なんとYouTubeに動画を公開しているとのことでした。今回は、他の受講生が実演している様子をスマートフォンで撮影し、編集ソフトを使って撮影した動画に文字や音声を入れたり、強調するような特殊効果を加えたりしました。YouTubeで見ると動画が目の前で仕上がっていき、他の受講生から「おー！すごい！」と言った声が聞こえてきました。



『これぐらいの作業なら自分でもできるかもしれない』と、動画編集を始めるきっかけに繋がってくれたら嬉しいです。」と語っていました。

今回は受講生が「実際にやってみる」を経験し、また、他の受講生から意見をもらったことで、様々な刺激を受けたと思います。アイデア実現に向けてまだまだ検討課題はあるかと思いますが、確実に大きな1歩となりました。

次回は、2回目の個人面談となり、いよいよ大詰めですね。最後まで頑張ってくださいよう！